

◎ともいきシンクタンク機能

●平成26年度 「地域志向教育研究ともいき研究助成事業」

<住民参画型>

- こころの健康** 東洋的身体技法を用いた地域住民のセルフケア実践及びセルフケア指導者教育
- 学習支援** ましま絆の会、宇治市、京都文教大学が紡ぐ地域連携の創造—地域と結びつく親と子の絆づくり、子どもへの学習支援—
- 商店街** 宇治3商店街の抱える課題の明確化と活性化に向けた方策の検討

<産官学協働型>

- 障がい者支援** 京都府南部地域における障がい者の就労支援に関わる研究
- 産業** 宇治市の魅力発信事業に関する課題抽出のための研究
- 地域デザイン** 地域コミュニティ活性化推進のための制度改革にむけた課題と方策の検討

●平成26年度 地域協働研究教育センター「地域志向協働研究」

- 観光** 宇治・伏見地域の観光資源開発と地域振興
- 子育て** 子どもたちを豊かに育むまちづくりのための「こらぶれーしょん」プロジェクト
- 多文化共生** 京都南部・向島地域のニュータウンにおける大学・住民協働のまちづくり研究
- 障がい者支援** 対人援助のモラルの向上を目指した多職種相互乗り入れ型の研修プログラムの開発に関わる研究
- 小中高校連携** 官学連携による「宇治学」副読本作成と現場での活用に関する研究



◎ともいきプラットフォーム機能

宇治市高齢者アカデミー

本学と宇治市が連携し、宇治市民を対象に「地域志向生涯教育事業」として平成25年9月より開講しています。アクティブシニアの養成や多世代交流を目的に、本学学生とともに授業を履修(週1回)に加え、アカデミアワー(月1回・ゼミ活動)を行い、地域課題の解決策を学びます。学習の成果を生かして、地域活動に参加し始めている受講生もいます。



京都府南部地域まちづくりミーティング

京都府南部地域の行政・企業・NPO・地域住民・学生・教職員など、さまざまなセクターの人々が集まり、まちづくりや観光、教育、福祉などのテーマを設け、地域課題やニーズを共有します。対話を通じてネットワークを構築し、地域課題解決に向けた協働を行います。ミーティングで共有された課題を共同研究のテーマとするなど、解決に向けた取組をすすめていきます。



地域協働研究教育センター

建学の理念「共生(ともいき)」の具現化をめざす本センターは、地域における本学の教育、研究、社会貢献を一体化し、地域・学生・教職員を巻き込んだ総合的な取組を推進することで、その成果を本学の教育活動や地域の発展に還元、寄与することを目的に、平成26年4月に開設されました。本学の専門性を生かし、学生への実践教育の場の提供、地域人材や専門家・専門職との共同研究の推進、生涯学習機会やリカレント教育の充実など、これまでの教育や社会貢献に継続性を持たせ、あらたに地域を志向した活動を発展させることで地域貢献に寄与いたします。



京都文教大学

- 総合社会学部(経済・経営コース、メディア・社会心理コース、公共政策コース、観光・地域デザインコース、国際・日本文化コース)
- 臨床心理学部(臨床心理学科・教育福祉心理学科)
- 大学院・文化人類学研究科
- 大学院・臨床心理学研究科

【お問合せ】 京都文教大学フィールドリサーチオフィス

〒611-0041 京都府宇治市横島町千足80 TEL: 0774-25-2630 FAX: 0774-25-2822
E-mail: fro@po.kbu.ac.jp URL: http://www.kbu.ac.jp/kbu/ facebook 京都文教大学

平成26年度採択
文部科学省「地(知)の拠点整備事業」(大学COC事業)

文部科学省
地(知)の拠点

京都府南部地域
ともいき(共生)キャンパスで育てる
地域人材

高年齢者アカデミー
子育て支援
魅力発信
高大連携
地域住民交流
地域ボランティア
地域インターン
公開講座
障がい者交流
住民参画型共同研究

地域で学び、地域で育てる。



京都文教大学

平成26年度

京都府内私立大学で唯一採択

本学の「京都府南部地域ともいき(共生)キャンパスで育てる地域人材」事業では、建学の理念である「共生」の精神を具現化し、大学のリソースを地域発展に、また地域のパワーを大学教育に活用することで、大学と地域が共に生かしあい、ともに生き生きする「ともいき(共生)キャンパス」を創造し、地域で学び、地域に貢献できる人材を育成していきます。

「地(知)の拠点整備事業」(大学COC事業)とは

大学等が自治体と連携し、全学的に地域を志向した教育・研究・社会貢献を進める大学を支援することで、課題解決に資する様々な人材や情報・技術が集まる、地域コミュニティの中核的存在としての大学の機能強化を図ることを目的としています。
平成26年度、京都文教大学は本事業に採択されました(申請数237件 採択数25件)。

●連携自治体 京都府宇治市、京都市伏見区

メッセージ



京都文教大学長 平岡 聡

大学と地域が協働し、共生の輪を拡げる。

京都文教大学の建学の理念を一言で表すと、「共生(ともいき)」ですが、その理念を具現化する一環として大学COC事業に応募し、見事に採択されました。このCOC事業の採択を追い風に、地域が本学にとって欠かせない地域に、また本学が地域にとって必要不可欠な大学となるよう、教育・研究・社会貢献の各方面において本学と京都府南部地域の共生関係を深め、本学の発展と地域の発展が相乗し相即する活動を展開していきたいと考えています。大学と地域が協働し、共生の輪を広げていきましょう。



宇治市長 山本 正

教育・研究・社会貢献の取組を積極的にサポート。

京都文教大学・京都文教短期大学と本市は、平成22年に連携協力に関する協定を締結し、観光振興や教育、文化など、様々な分野において相互に協力し、地域社会の発展と人材育成に取り組んでいます。

こうした中、京都文教大学が文部科学省の「地(知)の拠点整備事業」として採択された「京都府南部地域ともいき(共生)キャンパスで育てる地域人材」は、大学と地域が共に生かしあう「ともいき(共生)キャンパス」の創造を目指しており、市としても、教育・研究・社会貢献の3分野を柱とした取組を積極的にサポートし、地域課題の解決に向けた地域協働の拠点となることを期待しています。



伏見区長 久保 宏

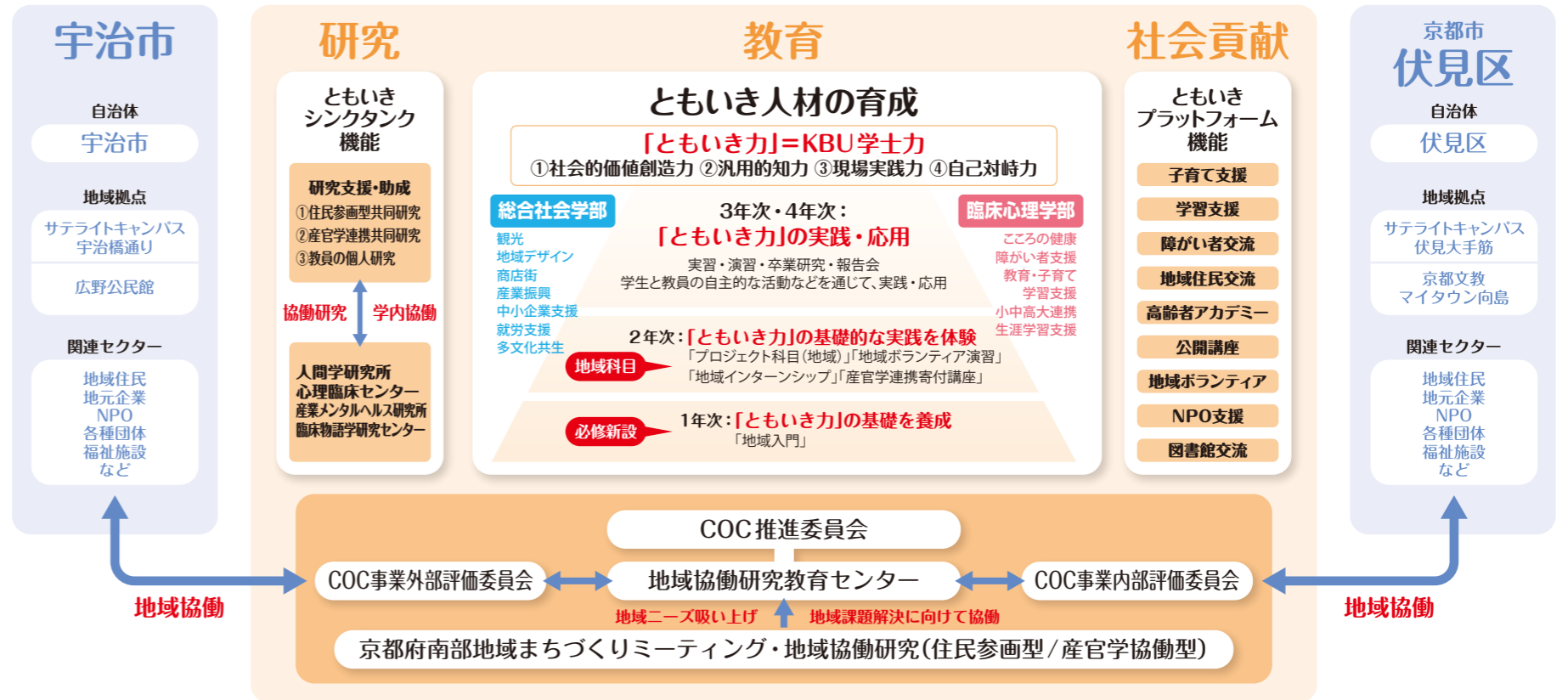
伏見区・宇治市の発展に繋がられるよう大いに期待。

これからの地方分権社会に対応し、伏見区としてまちづくりを推進していくためには、地域における自主的な活動を担う人材の発掘や育成が喫緊の課題となっております。この度、文部科学省から採択された「地(知)の拠点整備事業」「京都府南部地域ともいき(共生)キャンパスで育てる地域人材」の取組を通して、京都文教大学の知的財産を余すところなく発揮していただき、伏見区・宇治市のさらなる発展に繋がられるよう大いに期待しています。

京都文教大学 COC 事業概要図 (事業期間：平成26年度～30年度)

京都府南部地域ともいき(共生)キャンパスで育てる地域人材

建学の理念である「共生」の精神を具現化するために、大学のリソースを地域発展に、また地域のパワーを大学教育に活用し、大学と地域が共に生かしあい、ともに生き生きする「ともいき(共生)キャンパス」の創造を目指す。



背景

少子高齢化、地場産業の停滞、コミュニティの希薄化などの課題を抱える今日、経済界や地域社会は、グローバルな視点をもった地域人材の育成を求めている。

現状

京都府南部地域の持つ課題は加速度的に増している。同地域に拠点を持つ大学は本学のみであり、これを活用し、プラットフォーム、シンクタンクとしての機能を早急に創出する必要がある。

ポイント

本学の2学部3学科はすべて実学志向であり、地域連携の実績と「シーズ」を豊富に持っている。「ともいき人材の育成」「ともいきシンクタンク機能」「ともいきプラットフォーム機能」を通じて、地域の拠点となることを目指す。

研究 — ともいきシンクタンク機能

行政、企業、地域住民との共同研究を推進

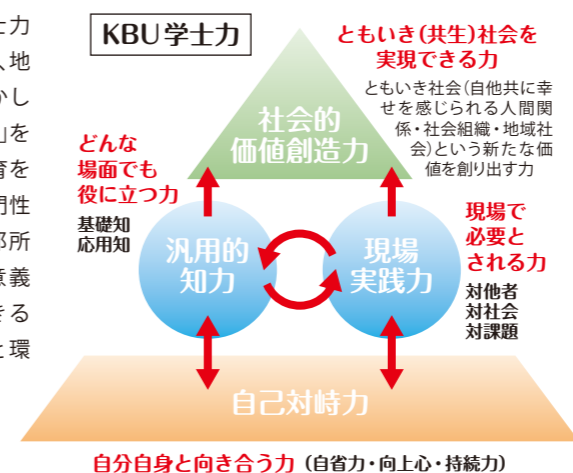
地域協働研究教育センターを平成26年4月に立ち上げ、地域を志向した研究、地域との共同研究に取り組んでいます。共同研究は、ともいき研究助成事業として、「①住民参画型」、「②産官学協働型」の共同研究を行政・企業・地域住民等から募集し、地域ニーズの発掘と課題解決に取り組めます。



教育 — ともいき人材の育成

地域で学び、地域に学ぶそして、地域に活かす

京都文教大学の学士力(KBU 学士力)として、地域の人々と「共に生かし合う力=ともいき力」を設定し、地域志向教育を軸に、それぞれの専門性に基づき京都府南部所在の本学で学んだ意義を生かすことのできる教育カリキュラムと環境を提供します。



社会貢献 — ともいきプラットフォーム機能

地域の方々とともに地域課題の解決に取り組む

地域住民の「生涯教育力の向上」による地域活性化を目指します。平成25年度より実施している宇治市の70歳以上対象の「高齢者アカデミー」をはじめとする「地域志向生涯教育事業」を充実し、地域のニーズに応じた事業展開を地域とともに創造します。また、「障がい者交流」「多文化共生」「地域ボランティア」など地域課題に合致する公開講座の開講や地域課題の抽出と解決に向けて模索するまちづくりミーティングの実施等に取組めます。

